

連載

- 10 世界のキーパーソン
- 11 国内人事情報
- 27 Book Reviewing Globe
- 40 広告を裏読みする
- 42 大往生考
- 51 西風
- 59 交差点——読者の声・編集者の声

社会・文化



脱炭素の美名の裏で、国土を蝕み、土砂災害の危険を高める。熱海の悲劇は、太陽光パブルが全国に広げた闇の深さを見せつけた。無法業者と怠慢行政の結託が、人災の連鎖を生み、さらなる人命喪失を招く。(110頁)

- 88 皇室の風——岩井克巳
- 90 日本の科学アラカルト
- 92 新・大学評判記
- 94 本に遇う——河谷史夫
- 96 をんな千一夜——石井妙子
- 114 マスコミ業界ばなし

経済

- 60 東京電力の出口なき「業績不振」——「千万個人顧客『喪失』」の危機
- 62 日経平均株価は「孫正義」次第に——「投資会社がもたらす新常態
- 64 「菱電機『モラル喪失』の百年
- 67 連載「クローズアップ」
玉塚元（ロッテHD社長）——プロ経営者「漂流譚」の第四章
- 68 連載「企業研究」
東京メトロ
■完全民営化を揺るがせる「小池劇場」
- 72 「ESG物言う株主」が暴れ出す——日本企業はファンドの「ガモ」に
- 74 経済●情報カブセル
- 78 連載「地方金融の研究」山口銀行——会長解任「ドタバタ劇」の真相
- 80 プリウス「衝突回避装置」に重大欠陥——リコールしないトヨタの不可解
- 82 金融庁「地銀半減計画」の衝撃
- 84 東急不動産「疑惑」の再開発事業——自治体巻き込む補助金「詐取」の指摘
■今後五年で「大再編」実現へ
- 86 「ロナ死続発」アジア駐在員の惨劇
■日本企業「社員棄民」という犯罪

悲願の株式上場で東京都がごり押しした2つの「新線建設」。コロナ禍で財務が急速に悪化する中、新たに長期のリスクを背負い込む。無理難題を呑ませる「百合子の横暴」が、首都交通の将来を歪める。(68頁)



- 104 日本はサイバー犯罪の「楽園」——防御力「世界最低レベル」の烙印
■繰り返す「医療逼迫の真因
- 106 最悪の変異「ワクチン抵抗株」の襲来
■五輪契機に「日本型」の出現も
日本のサンクチュアリ●シリーズ 563
- 110 再生エネ「乱開発」の闇——熱海は「序章」
■東京五輪で広がった「日本嫌悪」——醜態続発で「世界的好感度」を喪失

政治

ワクチン接種の加速化



支持率低下で充満する総選挙の不安。昔が狙った「9月解散」は幹事長の二階が封じた。総裁選が先となれば、党員投票が荒れるのは必至。安倍にはこの先も昔を支える覚悟はない。2期目の寄り辺は消えた。(48頁)

- 38 連載「現代史の言霊」八月の謀反——ソ連クーデター失敗（一九九一年）
■V字回復暗転の予兆
■有事での北朝鮮の「復讐」
- 36 中國經濟の惡夢「人民元暴落」
■「中国ハツカ」の猛威——日本は被害寒感すら把握できず
- 34 台湾侵攻で中朝同盟の不穏
■アジア軍拡の主役「極超音速兵器」
■「認知症」なら国際情勢に激震
■米社会が「過剰民主主義」で大混乱——「極端な正義」が深める分断
■異常気象に「無力」な西欧氣候学者——ドイツ洪水が問う「科学の信頼」
- 24 イランが亡命活動家に異様な「肃清」——各国で「拉致事件」が続発
■ミサイル防衛は時代遅れの「遺物」に
タリバン復活「国際テロ」の再燃——アフガンが中露の悩みの種に
対日領土問題で中露韓が「結託」——二十世紀の三国干渉の蠢動
世界最凶「中国ハツカ」の猛威——日本は被害寒感すら把握できず
- 46 政治●情報カブセル
菅の側近「転落ドミノ」の不気味
■菅官邸「機能不全」の象徴
■総裁選で誰も支えられない状況に
■不祥事・失脚・自滅で消える「手駒」たち
- 48 孤独な菅の「断末魔」
■菅官邸「機能不全」の象徴
■連載「政界スキャン」河野太郎に「首相」は論外
■「ワクチン失政」和泉補佐官の大罪
■菅官邸「機能不全」の象徴
■連載「罪深きはこの官僚」吉田学（内閣官房新潟吉田大臣官房長官）——酒規制「総スカン通達」の首謀者



中国は輸出強化で霸権を目指すが、ワクチンは粗悪。米国には世界供給への戦略がなく、新秩序の盟主となる自覚が欠如。米中対立が効果的な分配を妨げ、激化するワクチン争奪戦が分断と憎悪を深める。(6頁)

WORLD

世界混沌の「ワクチン分配」

●特別リポート

——米中対立で遠のく「コロナ終息」

3 連載「卷頭インタビュー」後藤俊彦——靖国神社の「正常化」は急務